

図書室だより

新着本の紹介

『なんともめでたいご臨終』



一般書
小笠原文雄
／著
小学館

『魔眼の匣の殺人』



一般書
今村昌弘
／著
東京創元社

『麦本三步の好きなもの』



一般書
住野よる
／著
幻冬舎

『ゆび1本ではじめる
Scratch3.0かんたん
プログラミング』



児童書
ジャムハウス
編集部
／著
ジャムハウス

『石田三成』(学研まんが
NEW
日本の伝記)



児童書
田代脩
／監修
ポプラ社

『はじめてのことは100』
(0・1・2さいぐんぐんぞつ好奇心)



絵本
フォトリア
／写真
ポプラ社

広報でお気に入りの本を“おすすめ”しませんか？

中央公民館では、広報でお気に入りの本をお薦めしていた
だけの方を募集します。詳しくはお問い合わせください。

■申込：中央公民館 ☎教育課 社会文化班 ☎83-3010

おすすめ新着本



『救いの森』

小林由香／著 角川春樹事務所

いじめや虐待、誘拐など命の危機を感じた時に起動させると、児童救命士がかけつける「ライフバンド」。児童保護救済法が成立し、義務教育期間の子どもにその着用が義務づけられた日本が舞台の小説。身勝手な大人たちに翻弄され声に出せない子どもたちのSOSと向き合う、児童救命士たちの物語。



『失敗図鑑：すごい人ほど
ダメだった！』

大野正人／著 文響社

多くの伝記では「英雄」「成功者」として紹介されている偉人たち。でも、彼らはずっと成功してきたわけではありません。新しすぎて理解されなかったピカソ、考えすぎて引きこもりになった夏目漱石、「助けてくれ」と言えなかったベートーヴェンなど、そんな偉人たちの失敗の数々をおもしろく紹介している、読みやすく楽しい本です。

町史編さん 調査余話 (21)

記録保存すべき行事

「栗村稻荷神社御田植祭」

昨年、文化庁により会津坂下町の伝統的な二つの行事について調査が行われました。

一つは「栗村稻荷神社御田植祭」で、もう一つは会津坂下町初市の「大俵引き」です。

「大俵引き」については前号まで掲載してきましたので、今回は御田植祭を取り上げてみます。

五穀豊穰祈願を目的に開催される御田植祭の行事は全国各地に見られますが、神田に早乙女が田植えを行う儀式や田植え人形が加わることが貴重で、会津美里町伊須美神社(七月十一、十二、十三日)と喜多方市慶徳町稻荷神社(七月二日)の御田植祭は北限の御田植祭であることから、三月には「国指定重要無形民俗文化財」の指定を受けました。

指定のため、類似行事として喜多方市塩川町田中舟森稻荷神社と同熊倉町館稻荷神社の御田植祭、会津若

松市神指町東城戸神明神社の御種蒔祭などとともに会津坂下町の栗村稻荷神社の御田植祭なども調査され、報告書(町史編纂室にあります)にまとめられました。

調査を通して伊須美神社の御田植祭は中世以来の歴史を持ち、慶徳町稻荷神社の御田植祭は天保五年(一八三四)に大飢饉からの回復を祈願して再興され、会津若松市神指町東城戸神明神社の御種蒔祭は明治十八年(一八八五)に田植えに先行する予祝行事として、栗村稻荷神社御田植祭りは昭和初期にはじめられたことが分かりました。

今年度から、これらの祭りは記録保存すべき無形民俗文化財として、撮影が行われる予定です。



昭和初期の栗村稻荷神社御田植祭行列

■問い合わせ

町史編さん室 ☎83-3010

齋藤町長の

スマイルトーク

新たな時代



春風の心地よい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

本年は比較的暖冬だったとはいえ、会津の冬という厳しい季節が過ぎ、本格的な春がやってまいりました。

平成31年4月1日に発表された新元号「令和」への改元まであとわずかとなり、新しい時代への幕開けに大きな期待を寄せておられることと思います。安倍首相の談話に「令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められている」とありました。これは会津坂下町が目指すまちづくりのテーマである「協働」の精神に通じるものであります。行政と住民が協力しあい、希望に満ちた新しい時代を切り拓いていきたいと考えております。

「令和」は万葉集にある梅の花の歌を典拠としています。厳しい寒さを乗り越えて咲く梅の花のように、大きな課題を乗り越え、よりよい町を共につくっていきましょう。



新入学児童・新入園児に交通安全用品を贈呈

子どもたちの安全を願って

交通安全用品贈呈式が3月26日に行われ、新入学児童・新入園児に交通安全用品が贈呈されました。贈呈式では、新入学児童代表の塚野優愛さんがランドセルカバーを受け取りました。

贈呈団体（敬称略）と用品は、以下の通りです。

【新入学児童へ贈呈】

- 会津坂下町交通対策協議会：ランドセルカバー、
- 会津坂下地区交通安全協会：腕章・あいうえお表・ワークブック、
- みずほ銀行：黄色いワッペン

【新入園児へ贈呈】

- 明るい社会づくり運動両沼地区協議会：黄色い帽子



新1年生にミニわらじストラップを贈呈

やまうち しんいち
山内 真一さん

坂下南小学校・坂下東小学校の新1年生と教師に、ミニわらじのストラップ105組が贈呈されました。山内さんが新1年生に毎年贈っているわらじには、信号機をイメージした赤・青・黄色の鼻緒が付けられています。



山内さんは「子どもたちの交通安全を願って贈ります」と述べられました。



会津坂下町防霜対策本部を設置

農業協同組合・農業共済組合・農事組合に委嘱

4月1日、町防霜対策本部が設置され、会津よつば農業協同組合代表理事専務 長谷川正市氏が代表して委嘱状を受け取り、看板設置を行いました。対策本部は町・農業協同組合・農業共済組合・農事組合長連絡協議会により構成され、5月31日まで設置されます。降霜時には迅速に農業者へ連絡し、被害の最小限化に努めます。



坂下南小学校

齋藤町長が児童たちと一緒に試食



坂下東小学校

和牛部会の方を囲んで給食を味わう

黒毛和牛の肉を給食に提供

JA 会津よつば みどり地区和牛部会様

JA会津よつば みどり地区和牛部会様より、福島県産の黒毛和牛の肉を提供いただき、3月6日の学校給食でビーフカレーにして味わいました。

「子どもたちに安全でおいしい地元の牛肉を食べてほしい」との思いから始まったこの取り組みは今年で14年目を迎えました。

畜産農家の皆さんが丹精込めて生産された牛肉は、当町を含め7市町村の教育機関に、合計123.4kgが提供されました。

和牛部会の方々、齋藤町長、日下副町長、鈴木教育長が子どもたちと楽しく試食しました。

雛人形・五月人形が寄贈されました

(株)一休さん大黒堂 坂下店様より、 ばんげ保育所へ寄贈

一休さん大黒堂様より雛人形・五月人形が寄贈され、ばんげ保育所にて贈呈式が行われました。同社の渡部直嘉常務は「未来を担う子どもたちに、日本の伝統文化に親しんでほしい。子どもたちの健やかな成長を願って寄贈します」と述べられました。



平成30年度 会津坂下町民憲章推進章贈呈式

2名と3団体が受章

3月19日に、「会津坂下町民憲章」の推進にふさわしい活動をされた個人・団体へ会津坂下町民憲章推進章が贈呈されました。受章された皆さまへ敬意と感謝を申し上げます。



受章者（敬称略） 受章理由

・藤崎 長吉

子どもへの登校指導・あいさつ指導

・小久保 仁一

子どもたちの見守り活動

地域社会への奉仕活動

・会津坂下町防犯協会 川西分会

地区防災のための巡視活動

防災意識向上のための啓発活動

※会津坂下町民憲章とは

町民が心を合わせて、明るく、住みよい町づくりを積極的に進めるための道しるべとして、町制施行30周年を記念して制定されました。「自然」「福祉」「健康と活力」「きまり」「文化」の5つの柱で形成されています。

・木の实シアター

幼児期の健全な情緒形成の推進

地域社会への奉仕活動

・おひさま倶楽部

つるし雛・手芸品制作による文化の振興

地域活性化への貢献活動



佐藤慶貴・川島望・金澤明穂・遠藤まりの

会津坂下町 新規採用職員を 紹介します

4月1日より、4名の新規採用職員が働き始めました。これからの活躍にご期待ください。

遠藤 まりの (喜多方市)

子ども課 坂下東幼稚園
子どもたちの成長の大きな支えとして、また共に成長できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお祈りします。

金澤 明穂 (鉄砲町)

生活課 福祉健康班
町民の皆さまが「気軽に相談できる窓口」をモットーに頑張りますので、どうぞよろしくお祈りします。

川島 望 (会津若松市)

子ども課 ばんげ保育所
町民の皆さまと一緒に町を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りします。保育所におります！

佐藤 慶貴 (会津若松市)

生活課 戸籍環境班
1日でも早く会津坂下町職員として、立派に服務を遂行できるよう、精一杯頑張りたいと思っております。

地域おこし協力隊

退任のごあいさつ

3年間の任期を終えて

秋山 奈月



秋山奈月さん
平成28年から地域おこし協力隊として活動し、3月任期満了に伴い、3月で退任されました。

この度、任期満了に伴い3月末日を持ちまして地域おこし協力隊を退任しました。

平成28年に移り住んだ当初は知人もおらず不安もありましたが、町の人・もの・こと・場所に触れ、これまでの生活にはない出会いがあり、様々な経験をすることができました。今ではこの町が大好きです。皆さまの活動やご協力があったからこそこの3年間でした。ありがとうございました。

活動では、より多くの方にこの町を知ってほしい・・・そんな思いで町の魅力を見える化し、県内外の各イベントやメディアを通し

てお伝え、コーディネートしてきました。

それにより、町内の方が町の魅力に気付き情報を拡散、町外の方がイベント時に訪問、県外で町産品を見つけて連絡・購入してくださったりしました。これらのご縁が様々な形で続き、広がりを見せ繋がっていることに喜びを感じます。

また、平成25年度より運用を開始した若者定住新築補助を利用して、42件156名が移住されました。平成29年より運用を開始したお試し住宅には167日間、28名に入居いただき、今年度は既に48日間、9名の予約が入っています。町に関心をもつ“ばんげファン”が、定住者・移住者・移住検



右が秋山さん。

討者はもちろん、移住を考えていない方の間にも広がり「住みたい(続けたい)」「戻りたい」「遊びにきたい」と思う方がさらに増えることを願っています。

退任後もこの町での生活は続きます。私にできることは微力ながらお手伝いさせていただきますので、今後とも変わらぬお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

これまで、本当にありがとうございました！



TURNSツアーみさと・ばんげの様子。3列目1番左が秋山さん。

6/9(日) 第3回 会津ばんげまち歩きを開催します

国の重要文化財「立木観音」「上宇内薬師」を拝観しよう

今回は、塔寺駅をスタートし「立木観音」と「上宇内薬師」を拝観します！どちらも国の重要文化財に指定されており、とても見ごたえがあります。たくさん歩いた後は「糸桜里の湯ばんげ」でのご入浴をお楽しみいただけます。皆さまのご参加をお待ちしています！

■日 時：6月9日(日) 午前8時10分～午後1時20分

■集合場所：会津坂下駅

■参加費：昼食代、入浴料(入浴希望者のみ 子供：400円 大人：600円 70歳以上：400円)、拝観料(立木：300円 上宇内：500円)

■申込：6月5日(水)までに電話で申し込み



立木観音

【問い合わせ 産業課 商工観光班 ☎83-5711】